

資料リスト

資料

- 資料 1 : 第1回自然再生検討会及び各部会における検討状況
- 資料 2 : 検討の主要課題
- 資料 3 : 自然再生の基本的な考え方(案)
- 資料 4 : 事業の評価手法の検討
- 資料 5 : 平成15年度調査フロー

参考資料

参考資料1-1 : 大台ヶ原の森林生態系が衰退した原因と現状

参考資料2-1 : 植生現況図(1947年)

参考資料2-2 : 1972年と2002年の植生比較

参考資料2-3 : 植生現況詳細区分表(2002年)

参考資料2-4 : トウヒ群落における植生現況詳細図(2002年)

参考資料2-5 : プナウラジロモミ群落における植生現況詳細図(2002年)

参考資料2-6 : トチノキサワグルミ群落における植生現況詳細図(2002年)

参考資料2-7 : 1972年と2002年のトウヒ群落

参考資料2-8 : トウヒおよびウラジロモミ高木の枯死率の推移

参考資料2-9 : 大台ヶ原・大峰山脈地区におけるトウヒ稚樹の樹高階分布(2002年)

参考資料2-10 : 1963年と2002年のトウヒ稚樹の樹高階分布の比較

参考資料2-11 : トウヒ群落下層植生の変化(1972年と2002年)・トウヒ群落ササ密タイプ

参考資料2-12 : トウヒ群落下層植生の変化(1972年と2002年)・トウヒ群落コケタイプ

参考資料2-13 : プナウラジロモミ群落の植生の変化(1972年と2002年)

参考資料2-14 : 1972年および2001年植生調査における植物出現種数の比較

参考資料3-1 : 動物調査の目標について

参考資料3-2 : 動物調査における調査地設定基準とする植生区分

参考資料3-3 : 野生動物現地調査(案)

参考資料4-1 : 路側駐車および渋滞の状況

参考資料4-2 : 現地調査において確認された“利用”に関する課題箇所

参考資料4-3 : 利用対策の方向性のイメージ

参考資料4-4 : 大台ヶ原における自然再生に向けた合意形成手法の流れ

参考資料5-1 : 大台ヶ原のトウヒ林

参考資料5-2 : ウラジロモミ・プナ群集

参考資料6 : 自然再生推進法の概要